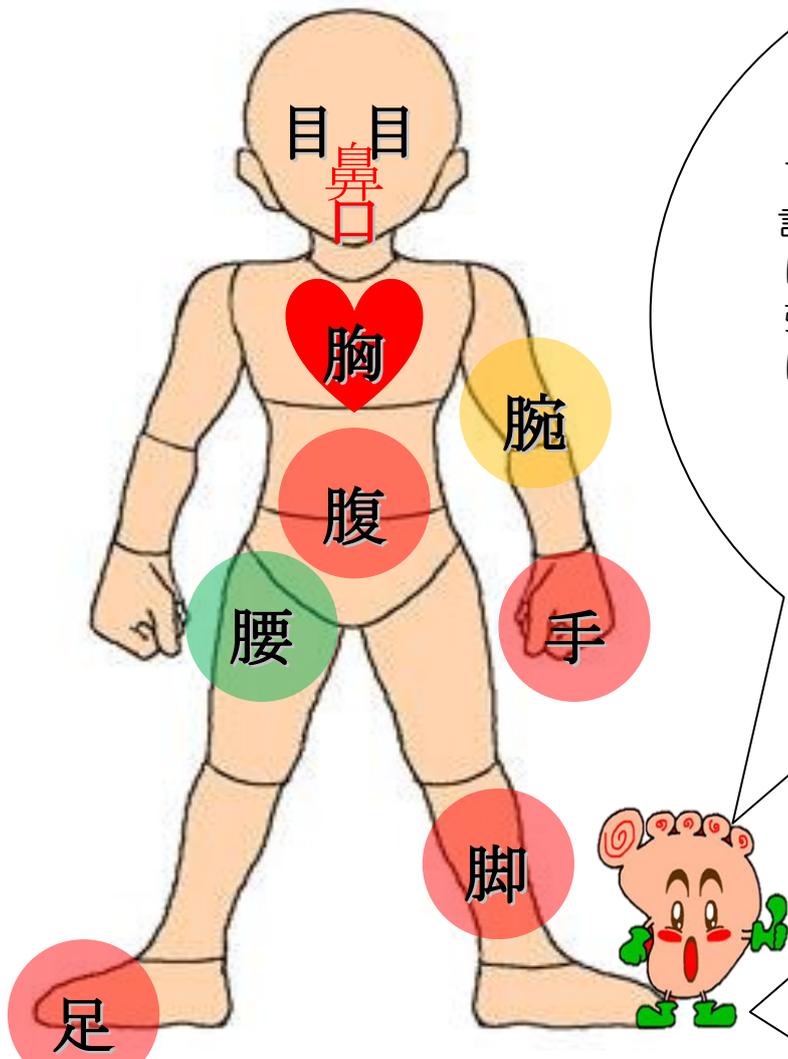




半身不随・身体強健？（下半身）

この「ヒライ信」のネタも、そろそろ頭打ち、何か手がかりを見つけていたら、この「からだことば」で命拾い。前回に続き「からだことば」の下半身の登場です。

「からだことば」は、6003もあるが、中でも一番多いのが「手」で668もある。続いて「目」（571）「口」（345）「頭」（228）「身」（271）で、これらを支えている「足」は220と少ない。そこで、「足」が「手」をはじめ他の部位に対して「からだことば」で文句を付いた。下半身の「からだことば」目一杯出鱈目に蛇足ながら腹一杯紙面に散りばめました。手間をかけた割に、尻すぼみですが、これで手仕舞いにします



やい！「手」をはじめ手前たち
「足」が下にあるからといって
下足と足下を見るな！足蹴にするな
言葉の数では「手」「目」「口」「頭」
には、足元にも及ばないが、俺は手
強いぞ。お高くとまった「頭」に頭
にくる、私腹を肥やす「腹」に腹が
立つ、騒ぐ「胸」に胸糞が悪い、
重い「腰」の腰ぬけめ！
「臍」のへそ曲がり。
この俺に足を向けてねるな。



悪事から足を洗った
あっしは「足」です。
玄人裸足の足技で、一足飛び
に、二の足踏まず、二足のわ
らじ、足掛け三年、足が地
につき、足場を固め発足した。
出足は好調、今や脚光を浴び
るほど。満足、充足、足跡残
して何の不足もありません。



- ・足が重い・足が地に付かない・足が付く・足が出る・足
- ・足が向く・足蹴にする・足に任せる・足元から鳥が立つ
- ・足を拗う・足を取られる・足を引っ張る・足を踏み入れる
- ・手足を伸ばす・揚げ足を取る・後足で砂をかける・鳥の足跡
- ・浮き足立つ・二の足を踏む・足が奪われる・足が乱れる・足を
- ・足をすくう・足を空・足を出す・足を使う・足を抜く・足を伸ばす
- ・足下に付け込む・足下に火がつく・足を重ねて立ち、目を側で視る・足下の明るいうちに

